

ガス警報器用 24V専用 取付ベース 取付説明書

適合警報器

都市ガス用 KN-35 (空気より軽いガス用)
KN-36 (空気より重いガス用)
GN3BWEB (空気より軽い12A・13Aガス用)
LPガス用 KP-35

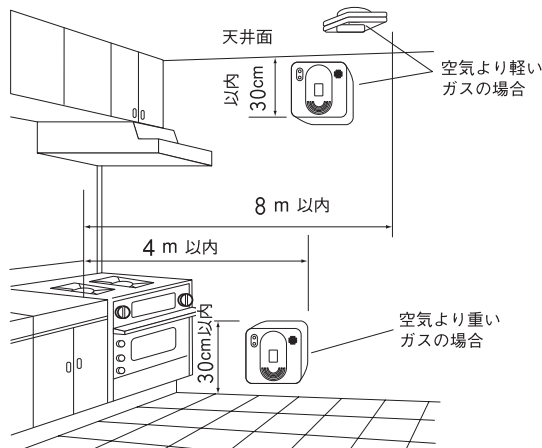
⚠ 注意

誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

《警報器の仕様に合わせて適切な場所に取り付けてください。》

■ 取り付け位置

- ガス器具と同一室内に取り付けてください。
- もれたガスが滞留しやすく、点検のしやすいところ。
- 警報器の表示灯が見やすいところ。



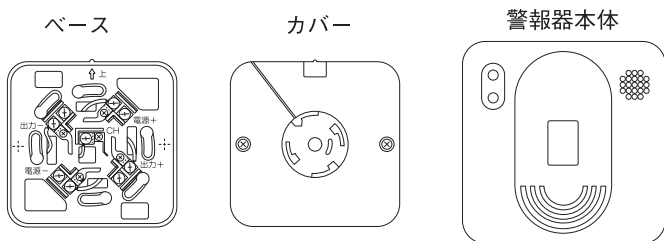
- 都市ガスで空気より軽いガスの場合は天井面、又は天井から30cm以内でガス器具から8m以内の壁に垂直に取り付けてください。
- LPガス又は都市ガスで空気より重いガスの場合は床面から30cm以内でガス器具から4m以内の壁に垂直に取り付けてください。

※ 次のような場所には取り付けないでください。

- (1) 燃焼ガス器具の真上および排気、湯気、油煙などが直接あたるおそれのあるところ。
- (2) 給気口、換気扇、ドア付近など風通しがよく、すきま風の入るところ。
- (3) 浴室内など水のかかる場所や水滴のつくところ。
- (4) カーテンウォール等で仕切られるところ。
- (5) 屋外。
- (6) ビルなどの湯沸し室で夜間電源を切るところや、使用時しか電源を入れないところ。
- (7) 温度が-10℃より低くなるか50℃より高くなる場所。
- (8) 地下室などで換気口の空気吹出口から1.5m以内のところ。

■ 取り付け方法

- ベースの取り付け寸法はピッチ66.7mmと73mmです。
- ボックスに取り付ける場合は下記のボックスに適合します。
〔適合ボックス〕・JIS C8340 アウトレットボックス
・JIS C8340 コンクリートボックス
・JIS C8340 丸形露出ボックス
〔適合ボックスカバー〕 JIS C8340 丸穴カバー

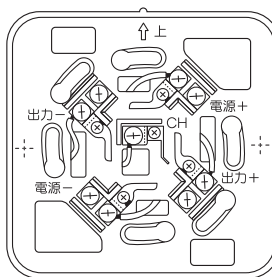


- 取付ベースを取り付ける時、警報器のランプが確認しやすい方向に取り付けてください。
- 壁面取付けの場合はベース取付方向表示 (↑上) に従い取り付けてください。

取り付け手順

- ① カバー取付ネジをゆるめてカバーをはずします。
- ② ベースを天井又は壁面に取り付けます。このとき電源線、信号線をそれぞれの穴に分けて通します。
- ③ 電源線、信号線をベースの表示どおり確実に接続します。接続がゆるむと警報しませんのでご注意ください。
- ④ カバーをもとどおり取り付けます。

■ 配線方法



- 電源線には+、-、信号線には+、-、CHの極性がありますので注意して配線してください。
- 信号線CHは集中監視盤等で警報機能をチェックする場合だけ配線が必要です。その他の場合は配線する必要はありません。
- 配線は極性ミスをなくするため、できるだけ色別をしてください。
- 接続端子はCH端子を除いて接続ネジが二つ付いています。送り配線を行う場合に使用ください。
- 露出配線を行う場合はベースの上部、下部二ヶ所にロックアウト部がありますので切り欠きをした後、電源線および信号線をそれぞれ引き入れて配線してください。

富士電機株式会社

製造元 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号(ゲートシティ大崎イーストタワー)
電話 (03) 5435-7111

コールセンター 0120-24-9194